

第6回守山駅東口再整備基本計画策定委員会 摘録

日時：令和6年11月5日（火）午前10時00分から正午まで

場所：市役所2階 防災会議室

開会

10：00

市長あいさつ

守山駅東口再整備基本計画策定委員会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

今回の委員会では、実現に向けて想定される具体的な整備手法や事業費、スケジュール等をご議論いただきます。更に、今までの議論の集大成となる基本計画の素案を示させていただき、パブリックコメントに向けた最終の議論をさせていただければと思っています。

この基本計画は、これから具体的に議論を深めていくための土台となるものと認識しています。基本計画策定の中で、皆様から意見をいただくことは、今後の議論にも大変重要なことになると考えていますので、忌憚のないご意見を引き続きお寄せいただければと思います。

基本構想の時から含めると、守山駅東口再整備に関する議論も3年目になります。どのような機能を誘致するのか、配置するのかを、市民の皆様にも丁寧に説明を尽くしていくことを基本とし、守山らしい東口の再整備を進めて参りたいと考えております。

そのための大事な策定委員会でございますので、活発なご議論をお願い申し上げまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

10：05

委員およびオブザーバーの紹介

オンライン参加1名・代理出席1名

10：10

報告事項 守山駅東口再整備基本計画策定委員会について

【主な意見】

・パブリックコメントや市民説明会に関係者がしっかりと参加できるよう、説明が行き届くような開催案内が大切である。市民説明会を自治会館等で開催するとなると、キャパシティ的に参加できる人数に限られるため、開催回数も再検討してほしい。

⇒ 広報やホームページ等を活用し、広く情報が行き渡るように、丁寧な周知に努めたい。

市民説明会については、会場のキャパシティを踏まえるなか、開催回数を増やしていきたい。

10：15

協議事項 整備手法・概算事業費・スケジュールについて

【主な意見】

・周辺道路の整備による交通状況の変化等、不確定要素が非常に多い中で、資料の中に具体的な時期を書き込むことは、非常にリスクであると考えます。

⇒ 周辺道路の整備による影響を待ったうえで、事業を進めるとなると、時機を逸することになると考えている。周辺道路の整備に伴う交通量の変化等をしっかり予測し、分析するなかで、今後の事業を検討していきたい。

- ・周辺道路の整備や渋滞、交通の影響をしっかりと検討した上で、ステップ2をスタートすることを資料の中で明記する方が良いのではないか。
- ・3つの整備手法のうち、実施する整備手法はどのように最終決定を行うのか。
⇒ 一般論で言えば、守山市も含む、地権者同士の話し合いで決めることが多い。
- ・村田製作所守山イノベーションセンターの整備スケジュールを踏まえ、守山駅東口再整備事業への制約や影響等は発生するのか。
⇒ 特段の制約や影響等は発生しないと考えている。ただし、連動・連携は図っていきたい。

11:00

協議事項 守山駅東口再整備基本計画（素案）について

【主な意見】

- ・パブリックコメントは、オンラインだけで実施するのか。印刷物等は、設置しないのか。
⇒ データだけでなく、紙ベースの資料についても、各地区会館や図書館等の公共施設窓口に設置する予定である。市民説明会では、見ていただきやすい動画等も作成したいと考えている。
- ・整備イメージについては、もう少しデザイン等を専門家も含め、しっかりと検討しないと、このまま整備されていくと誤解されてしまう可能性がある。CGを使うと、リアルな空間として見えてしまう可能性もあるため、スケッチパース等で作成する方が良いかもしれない。
⇒ 整備イメージについては、東口がどのように変化するのかをわかりやすくイメージしてもらうためにCGで作成したものである。細部まで作り込んでしまうと、確定事項と捉えられてしまう可能性もあるため、余白を残しながら作成したものであり、詳細な整備内容については、市民の皆様を含め、今後議論を深めていきたい。
- ・概要版「事業推進体制」については、施設整備後にどのように事業を進めるのかという風に見えるため、デザインや設計などの詳細な部分の検討を含め、3者共同で事業を進めていくということをイメージできるように修正してほしい。
- ・既存の守山駅東口の広場は、あまり利用されていない状況であり、駅を日常的に利用する人は、広場よりもロータリーを使用する機会が多いはずである。日常とそれ以外の利便性のバランスを踏まえるなかで、機能配置を検討する方が良いのではないか。ゾーニング案は、「第1案：広場中心案」に決定しているのか。
⇒ 基本計画時点では、「第1案：広場中心案」のゾーニング案が最も優位性が高いと整理しているところである。ただし、ロータリーや広場の詳細な整備内容や面積については、今後調整が必要だと考えている。
- ・普段利用している立場からすると、一方通行道路を歩行空間として活用することにより、現状よりも渋滞が増えると考えている。一方通行道路を歩行空間として活用している整備イメージを示されることは、非常に不安であり、心配が残る。
⇒ 一方通行道路を歩行空間として活用することについては、現状の交通量が少ないこともあり、広場や歩行空間等、別の方法での活用ができるのではないかと考えていることから、一つの検討例として、整備イメージを描いているものである。これについては、様々なご意見があることは認識しており、決定事項ではなく、今後、議論していくことが必要な項目であると考えている。

- ・ 守山駅西口の渋滞対策アンケートの結果としても、減らした方が良いという機能としては、緑地公園が意見として多い状況である。あったら嬉しいもの、無くては困るものを整理する中で、しっかりと機能ごとの面積を検討してほしい。渋滞対策については、オペレーションだけでは対応し切れない部分もあるため、ハード整備の中でもしっかりと検討してほしい。

11：50

報告事項

- ・ パブリックコメントおよび市民説明会の実施について（守山市）
- ・ B K C 開設 30 周年事業シンポジウム「滋賀県地域共生」について（塩見委員長）

閉会